

東広島市こども計画(第3期東広島市子ども・子育て支援事業計画)における数値目標(案)

基本目標	基本施策	こども計画(第3期子ども・子育て支援事業計画)における数値目標						【参考】第2期子ども・子育て支援事業計画における数値目標等				
		数値目標	単位	現状値 (R5年度)	目標値 (R11年度)	担当課	備考	数値目標	単位	現状値 (R元年度)	目標値 (R6年度)	担当課
基本目標1 安心してこどもを 産み育てられる 支援の充実	(1) 東広島版ネウボラの充実【重点】	初妊婦の妊娠期サービスの利用割合	%	73	90	こども家庭課		乳児家庭全戸訪問の訪問率	%	99	100	こども家庭課
		思春期健康教室参加人数	人	245	500	こども家庭課		初妊婦の妊娠期サービスの利用割合	%	60	85	こども家庭課
	(2) 産科・小児科医療体制の充実	初期救急：小児科当番医に係る空白日数	日／年	0	0	医療保健課		初期救急：小児科当番医に係る空白日数	日／年	37	0	医療保健課
		救急医療電話相談件数(#7119＋#8000)	件	6,990	8,200	医療保健課		救急医療電話相談件数(#7119＋#8000)	件	4000	7500	医療保健課
	(3) 子育て世帯の経済的負担の軽減	理想のこどもの人数を持てない理由として「経済的な負担が大きいから」と回答した保護者(就学前児童)の割合	%	74	50	こども家庭課	5年おきの調査(次回R10年度)	—				
基本目標2 社会的な支援が 必要な子ども・若 者への支援の充 実	(1) 児童虐待の予防と早期対応【重点】	要保護児童対策地域協議会マネジメントケースの終結移行率	%	65	70	こども家庭課		—				
	(2) 障がいのある子ども・若者と家庭への支援	—	—	—	—	—	—	幼稚園に通わせている保護者の、教育または保育への肯定的回答(楽しんで通っている)の割合	%	98	98	保育課
		特別支援学級に在籍する児童・生徒の教育活動に対する肯定的回答の割合	%	88	100	指導課		特別支援学級に在籍する児童・生徒・保護者の教育活動に対する肯定的回答の割合	%	0	75	指導課
	(3) 貧困等、困難な状況にあるこども・若者と家庭への支援	母子父子自立支援プログラム策定者の就職率	%	30	33	こども家庭課		母子父子自立支援プログラム策定者のうち、就労に繋がっていない割合	%	14	13	こども家庭課
		学習支援事業参加者の高校進学率	%	100	100	地域共生推進課		学習支援事業参加者の高校進学率	%	83.3	100	地域共生推進課
	(4) 様々な課題を抱える子ども・若者と家庭への支援	「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」において「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合	%	82	85	指導課		—				
基本目標3 仕事と子育てを 両立するための 支援の充実	(1) 年間を通しての待機児童の解消【重点】	保育所待機児童数(毎月の合計)	人	283	0	保育課		保育所待機児童数	人	0	0	保育課
		いきいき待機児童数	人	72	0	青少年育成課		いきいき待機児童数	人	0	0	青少年育成課
	(2) 多様な保育ニーズへの対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	(3) 働く女性の応援と働き方改革の推進	働き方改革等認定事業実施事業者数	件	13	35	産業振興課		ワークライフバランス講座の参加者数	人	189	150	人権男女共同参画課
		地域社会(職場を含む)において、男女の地位は平等と感じる市民の割合	%	25	45	人権男女共同参画課		男女共同参画に関する講座・講演会等の参加者数	人	1125	1000	人権男女共同参画課
		保育所待機児童数(毎月の合計)	人	283	0	保育課		保育所待機児童数	人	0	0	保育課
基本目標4 子ども・若者を支 える地域の子育 て支援力の強化	(1) 地域での子育て支援体制の充実【重点】	ファミリーサポートセンター活動件数	件	3,874	4,491	こども家庭課		初妊婦の妊娠期サービスの利用割合	%	60	85	こども家庭課
		住民自治協議会の認知度	%	70	78	地域づくり推進課	目標値はR12のもの	ファミリーサポートセンター活動件数	件	2759	3214	こども家庭課
		地域(こども)食堂の数	件	21	30	地域共生推進課		住民自治協議会の認知度	%	65.6	70	地域づくり推進課
	(2) こども・若者と子育て家庭にやさしい社会づくり	子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じる割合	%	52	70	こども家庭課	5年おきの調査(次回R10年度)	—				
		「差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある」に賛成の市民の割合	%	79	85	人権男女共同参画課		—	—	—	—	—
	(3) こども・若者が安心・安全に過ごせる環境づくり	交通事故重症者数	人	54	33	危機管理課	年度ではなく年単位	交通事故発生件数	件	509	414	危機管理課
		青少年施設(東広島市第1・第2児童青少年センターをいう。)の利用者数	人	34,014	52,000	青少年育成課		—	—	—	—	—
基本目標5 子ども・若者の健 やかな成長と自 立への支援の充 実	(1) 生きる力を育む教育・保育の推進【重点】	乳幼児期に育みたい力がついているこどもの割合	%	—	80	保育課	目標値はR12のもの	保育所等に通わせている保護者の、教育又は保育への肯定的回答	%	—	98	保育課
		「主体的・対話的に学習活動に取り組んだ」と回答した児童生徒の割合	%	70	77	指導課		—	—	—	—	—
	(2) 若者の自己実現を支援する取組	青少年が関わった地域活動の年間実施数	件	4	8	青少年育成課		—	—	—	—	—
	(3) こども・若者の意見表明の機会の確保	「こどもの意見を聴いてもらえている」に「非常に当てはまる」又は「ある程度当てはまる」と回答したこどもの割合	%	—	70	こども家庭課	5年おきの調査(次回R10年度)	—	—	—	—	—